

令和5年度

肢体不自由教育部門

中学部

第3学年

③学習グループ

年間指導計画

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体不自由教育	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	国語・数学		グループ	③		
ねらい	(1) 読み聞かせに親しみ、物語の世界観やオノマトペなどを感じ、感じた気持ちを表情や発声、身体の動き等、自分なりの方法で表現する。 (2) 絵本や身近な人の話しかけ等の言葉に触れ、言葉が具体物や内容、気持ち、要求等を表していることを感じるができるようになる。 (3) 数や物の形について、絵本や具体物を用いて知り、数や形などに関心をもって関わる力を養う。					
担当教員	牧理 相田多恵 並木美由紀		年間授業時数	35	時間	
使用教科書	講談社「創作絵本 おじさんのかさ」 くもん出版「1分きざみで時計がよめるはとのクルックのとけいえほん」					
主な指導の工夫	(1) 生徒の興味を引き、親しみやすい教材を使用する。 (2) 五感で感じることでできる教材を使用する。 (3) 絵本は、モニターやタブレット端末など個別に見やすい工夫をする。 (4) 一人一人の気持ちの表出を待つようにする。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5 6 7 9	本の世界を感じ、自分の気持ちを伝えよう①	15	◆ 本の世界を感じ、自分の気持ちを伝えることができるようになる。 ◇ 「春」「夏」をテーマにした図書の読み聞かせを聞き、自分の気持ちを発声や表情などで表現する。 ◇ 図書室を利用する。		○	
	オノマトペを感じよう①		◆ 「ピツンツン」「ザーザー」等の擬音語・擬態語を体験を通し、知ることができる。 ◇ 短い言葉の繰り返しや、オノマトペがある読み聞かせ。		○	
	身近な数字①		◆ 身近な数字に関心をもつことができる。 ◇ 具体物を用いて、1～3までの数唱に親しむ。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
10 11 12	本の世界を感じ、気持ちを伝えよう②	13	◆ 自分の気持ちを伝えることができるようになる。 ◇ 「秋」をテーマにした図書をそれぞれ2択から選び、自分の気持ちを伝える。 ◇ 学校図書を利用する。			
	オノマトペを感じよう②		◆ 「もこもこ」「ぶう～」等の擬音語・擬態語を体感し、知ることができる。 ◇ 短い言葉の繰り返しや、オノマトペがある読み聞かせ。			
1 2 3	本の世界を感じ、気持ちを伝えよう③	7	◆ 自分の気持ちを伝えることができるようになる。 ◇ 「冬」をテーマにした図書の読み聞かせを聞き、自分の気持ちを発声や表情などで表現する。 ◇ 学校図書を利用する。			
	身近な数字②		◆ 身近な数字に関心をもつことができる。 ◇ 数字の読み方と、マッチングを行う。			
	身近な形		◆ 身近な形の名称と意味を知ることができる。 ◇ いろいろな形のマッチングを行う。			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	音楽			学習グループ	③	
ねらい	(1) 様々な音楽活動を通し、発声や表情で気持ちを表現する。 (2) 楽器の演奏では、意識的に音を出そうとする。 (3) 音楽の流れ、拍節感、リズムを感じて身体を動かす。					
担当教員	隈元友香 相田多恵 並木美由紀			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	偕成社「うたのパレット」 あかね書房「うたいましょう おどりましょう」					
主な指導の工夫	(1) 生徒の自発的な表現を促すように伴奏の音域やテンポを工夫する。 (2) 楽器を使用する際には、演奏しやすい楽器や器具などを用いる。 (3) 生徒が楽しく活動できるように幅広いジャンルから選曲を行う。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	始まりの歌 終わりの歌	7	◆ 活動の始まりと終わりを意識する。 ◇ 声や身体で気持ちを表現する。			○
4	「花」を表現しよう	3	◆ 音楽の流れを楽器で表現する。 ◇ フェルマータのところでツリーチャイムを鳴らす。		○	
5 6	太鼓とシンバルで合奏しよう	7	◆ やりたい楽器を選択して、自分から楽器を鳴らす。 ◇ 太鼓やシンバル等から楽器を選び、補助具を使って音を鳴らす。		○	
7	「サンタ・ルチア」を表現しよう	3	◆ 波の音や三拍子の揺れを、聴覚と視覚から感じる。 ◇ オーシャンドラムを鳴らしたり、大布を揺らしたりする。			○
9 10	ジャズを鑑賞しよう 墨東祭の歌	7	◆ ジャズの代表曲を鑑賞し、スイングのリズムを感じ取る。 ◇ 「枯葉」「A列車で行こう」を鑑賞する。 ◆ 墨東祭にむけて気持ちを高める。 ◇ 「墨東祭の歌」を聴きながら、好きな楽器を鳴らす。	○		○
11 12	「マンボ No.5」を表現しよう	6	◆ ラテン音楽の特徴に気付く。 ◇ 発声やスイッチ操作で掛け声を表したり、マラカスを鳴らしたりする。		○	

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
1 2	日本の音楽に親しもう 雅楽	6	◆ 日本の音楽の曲想を感じ取る。 ◇ 「越天楽」を鑑賞して、それぞれの方法で楽器の音を鳴らす。	○		
3	「朧月夜」を表現しよう	3	◆ 歌詞の内容を理解し、情景をイメージする。 ◇ 歌詞に出てくるものの写真を見たりカエルの鳴き声を聞いたりする。			○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	美術			学習グループ	③	
ねらい	(1) テーマや素材などから発想を広げて自分らしい作品を作る。 (2) 様々な素材や道具を使って、楽しんで創作する。 (3) 自分や友達の作品を鑑賞することができる。					
担当教員	相田多恵 並木美由紀			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	ユニバーサルデザイン絵本5 なないろのクラ					
主な指導の工夫	(1) 様々な素材を取り入れながら、感触を楽しめる機会を作る。 (2) 制作に気持ちを向けて、手をよく動かして活動する。 (3) 自分や友達の作品に興味をもって鑑賞する。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5 6	版画	20	◆ 異なる素材の質感に触れ、形や感触に興味をもつことができる。 ◇ 段ボールやアルミなど様々な素材を版に貼り、インクをのせて刷る。様々な種類の紙に印刷を行う。		○	
7 9 10	バブルアート	20	◆ シェービングフォームの泡の感触に気付いて手元を見る。自分の表現したい色を選択することができる。 ◇ 絵の具を2色選ぶ。選んだ絵の具で着色したシェービングフォームの泡を、画用紙に塗る。		○	
11 12	季節の飾り	16	◆ 様々な国の文化に触れ、季節の飾りを制作する。 ◇ 画用紙に様々な素材の紙を切り貼りし、コラージュする。	○		
1 2 3	コラージュ	14	◆ 一年間の授業を振り返ることができる。 ◇ 制作した作品を写真に撮り、画用紙にまとめる。	○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	保健体育			学習グループ	③	
ねらい	(1) 様々な運動経験を通じて、身体を動かすことの楽しさを知る。 (2) 競技の特性に応じた粗大運動や微細運動などを経験し、ボディイメージの向上を図る。 (3) 具体物や補助具などを操作して主体的に運動へ参加する気持ちや、仲間と協力しながら活動へ参加する意欲を育む。					
担当教員	近藤唯 牧理 相田多恵			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	あかね書房「からだのえほん④からだにもしもし」					
主な指導の工夫	(1) 自発的な運動を引き出せるように、単元に応じた音楽や映像などの視聴覚教材を使用する。 (2) 個々の特性に合わせた補助具や浮遊具を使用する。 (3) ルールを工夫し、主体的に参加できる内容や理解しやすい内容にする。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	リトミック	2	◆ 体育祭に向け、グループで協力し、競技を行う。			
5	陸上競技	3	◆ 個々の課題に応じた運動をすることができる。 ◇ 準備運動・リトミック・課題走・墨東玉入れ			○
7	水泳	2	◆ 浮力を利用して、全身のリラクゼーションを図ると共に、重力下では自由に動かすににくい筋肉や関節を動かす。			
9		1	◇ 浮遊具を使った水中運動・水慣れ		○	
10	球技	4	◆ 腕や手などを動かして、主体的に身体を動かすことの楽しさを感じる。			
11	ボッチャ	3	◇ ボールを投げる、またはランプや補助具などを使用して転がす。		○	
1	ハンドサッカー	3	◆ ボールや道具を操作し、課題に対して工夫することができる。 ◇ それぞれに合った方法でシュートをする。			○
2	剣道	3	◆ 伝統文化としての剣道を体験する。			
3		2	◇ 竹刀の振り下ろし等の上肢の運動。		○	

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第3年	
教科等名	特別活動			学習グループ		
ねらい	(1) 自分の役割を意識し、学習したことを発揮することができる。 (2) 集団の中で相手の気持ちを受け止めたり、自分の気持ちを自分なりの表現で伝えたりすることができる。 (3) 友達と協力し助け合い、人間関係を育み、集団生活の充実を図る。					
担当教員	牧理 柳堀拓也 相田多恵 磯部知史 近藤唯 並木美由紀			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真やDVDなど視覚教材を利用し、興味・関心をもてるようにする。 (2) 学習グループを超えてコミュニケーションをとれるようにする。 (3) 友達を意識して発表したり、考えたり、一緒にできる活動を取り上げる。					
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	オリエンテーション	1	◆ 3年生の主な行事について知り、1年間の見通しをもつ。 ◇ 3年生の主な行事とその活動内容を知る。	○		
	新入生歓迎会	2	◆ 新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。 ◇ 活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。			○
5	卒業制作①	2	◆ 卒業制作として何を作るか話し合い、思い出を形にする。 ◇ 卒業制作の内容とデザインについて考え、制作する。		○	○
	体育祭	3	◆ 体育祭に見通しをもち、参加する。 ◇ 体育祭の競技種目を知り、お互いに励まし合い、練習する。			○
6	修学旅行について①	3	◆ 修学旅行について主な行程を知り、見通しをもつ。 ◇ スライド教材を見て、日程や行程について確認する。			
7				○		
7	1学期を振り返って	1	◆ 1学期を振り返り、お互いに頑張ったことを発表し合うことができる。 ◇ 1学期を振り返り、頑張ったことを発表する。			○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
9	2学期の予定	1	◆ 2学期の行事予定を知り、見通しをもつ。 ◇ 2学期の主な行事予定を確認する。	○		
	修学旅行について②	4	◆ 修学旅行について各自の目標や係を決め主体的に参加する。 ◇ 係活動について事前準備をする。 ◇ 頑張ったことなどを発表する。		○	○
10	卒業制作②	2	◆ 友達と一緒に卒業制作を行い、思い出を形にする。 ◇ 卒業制作を行う。		○	○
11	墨東祭について	8	◆ 墨東祭の発表内容を協力して考え、日頃の学習の成果を発揮する。 ◇ 墨東祭の発表内容を協力して考える。 ◇ 発表の練習をする。 ◇ 小道具や背景などを作成する。		○	○
			◇ 墨東祭を振り返り、来年につなげる。		○	○
12	2学期を振り返って	1	◆ 2学期を振り返り、頑張ったことについてお互いを意識して発表し合うことができる。 ◇ 2学期を振り返り、頑張ったことを発表する。		○	
1	3学期の予定	1	◆ 3学期の行事予定を知り、見通しをもつ。 ◇ 3学期の主な行事予定を確認する。	○		
	高等部での生活について	2	◆ 卒業後の生活について見通しをもつ。 ◇ 高等部での生活について、写真等を見て知る。	○		
2	卒業に向けて	3	◆ 答辞、証書授与の練習を通じて、卒業への意識を高めることができる。 ◇ 答辞を考え、練習をする。		○	○
3	3年間で振り返って	1	◇ 証書授与の練習をする。		○	
◆ 画像等を使って、中学部での生活を振り返ることができる。 ◇ 3年間で振り返って、3年間頑張ったことを考え、発表する。				○		
※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度						

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	中学部	学年	第 3 年	
教科等名	自立活動			学習グループ	③	
ねらい	<p>(1) 身近な友達と協力し、助け合い、人間関係を育み、集団生活の充実を図る。 [3人間関係の形成 6コミュニケーション]</p> <p>(2) 生理的基盤を整えて体調の安定を図り、心身ともに健康な状態を保持する。 [1健康の保持 2心理的な安定]</p> <p>(3) 教員と関わりながら個別の課題に向かい、個々の感覚や運動機能の向上を目指す。また、コミュニケーションの基礎的な力となる言語能力を育み、各自の方法で表現できるようになる。[3人間関係の形成 4環境の把握 5身体の動き 6コミュニケーション]</p> <p>(4) 活動や課題を通してきまりやルールがあることを理解し、各自の方法で主体的に社会へ参加しようとする力を育む。〔4環境の把握〕</p>					
担当教員	牧 理、相田多恵、並木美由紀			年間授業時数	595 時間	
使用教科書						
主な指導の工夫	<p>(1)ホワイトボードやカードなどを利用し、視覚支援を行う。見通しがもてるように、環境を整える。個々の表出を待つ。</p> <p>(2)コミュニケーションを図りながら表出を受け止めて進める。</p>					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	朝の活動	455	<p>◆ 当日の予定の確認をし、見通しをもって活動に取り組むことができる。</p> <p>◆ コミュニケーションを取る準備をすることができる。</p> <p>◇ 朝の会 挨拶、月日、天気の確認 呼名、出席数の確認 予定の確認 朝の会の歌</p>	○		○
	個別の課題	105	<p>◆ 手の操作性、思考・判断・理解力、コミュニケーション力を伸ばすことができる。</p> <p>◆ 体調を整え、心理的安定と健康の維持・増進を図り、身体の変形・拘縮を予防することができる。</p>			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
			◇ 水分摂取 一口飲みの練習、口唇を使う練習など。 ◇ 排せつ指導 働き掛けや言葉掛けに応じての個別の表出方法で意思を伝える。 ◇ 個々の認知に関する課題やコミュニケーションの課題。 読み聞かせ、手遊び、絵や写真カードの選択、上肢を使う課題、発声を促す課題、役割のある課題を行う。 ◇ ストレッチ、リラクゼーション、抗重力姿勢、姿勢変換、歩行練習など。		○ ○ ○	○
	特設自立活動	35	◆ 個々の実態に応じて重点的な課題に取り組むことができる。 ◇ 身体の動きに関する内容 腰や背中、肩周辺の動きを改善するリラクゼーション、上肢、下肢のストレッチ、身体ひねり、姿勢変換、体幹保持の練習をする。 ◇ 大型遊具、立位台、ピーナツバルーンなどを用いた保有する感覚へ働きかける活動をする。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第3年												
教科等名	日常生活の指導			学習グループ	③												
ねらい	(1) 友達や教職員から挨拶を受けたとき、返事ができる。 (2) 個々の食べる課題(捕食～嚥下)に応じて食機能を向上させ、安全に食べる。 実施者とコミュニケーションを取りながら、気持ちをリラックスさせて安全な注入ができる。 (3) 排せつへの意識を高め生理的リズムを整える。																
担当教員	牧理 相田多恵 並木美由紀			年間授業時数	105	時間											
使用教科書																	
主な指導の工夫	(1) 挨拶を受けたときは、本人からの表現が出るまで待つようにする。 (2) 日々の様子を細かく観察して、一人一人の様子を全員で見守る。 (3) 排せつ指導では、排せつの方法や促し方を工夫し、便座での成功経験を増やすようにする。 季節ごとの排せつのタイミングを確認する。排せつのタイミングの5～10分前にトイレへ行き、便座に座るようにする。																
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ										
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	技家	外		
通年	挨拶	105	◆ 挨拶を受けたとき、声、タッチ、視線、笑顔など、自分なりの表現方法で返事をする事ができる。 ◇ 廊下ですれ違う友達や教職員との挨拶														
	食事		◆ 個々の食べる課題、注入での課題に応じて機能を向上させ、安全な食事ができる。 ◇ 上唇を使った取り込み、安定したそしゃく、安全な嚥下、気持ちのコントロール														
	排せつ		◆ やりとりをしながら、協力動作をすることができる。 ◇ 排せつ														

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	中学部	学年	第3年									
教科等名	生活単元学習			学習グループ	③									
ねらい	(1) 五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)を使って、様々な活動を体験し、興味・関心を広げる。 (2) 様々な体験的な活動や季節を感じる活動を通して、生活経験の幅を広げたり、余暇活動につなげたりす (3) 挨拶や気持ち、要求等を、表情や発声、身体の動き等、自分なりの方法で表現する。 (4) 身近な友達や教職員との活動の楽しさを味わい、共感する。													
担当教員	牧理 相田多恵 並木美由紀			年間授業時数	105	時間								
使用教科書	「新・こどもクッキング」女子栄養大学出版社 「CD付 楽しく歌える英語のうた」成美堂 「はじめましてせかいちず」平凡社													
主な指導の工夫	(1) 単元ごとに授業の流れを一定にし、見通しがもてるようにする。 (2) 一人一人の生徒の障害特性に応じ、教材の提示の仕方を工夫する。 (3) 生徒の表現を待ち、できたときに共感するように言葉かけをする。													
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ							
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	技
4 5 6 7 9	季節を感じよう ～春～ 体育祭へ向けた取り組み	8 12	◆ 校庭などで自然の事物などに触れ、戸外の心地よさや季節を感じるができる。 ◇ 動植物の観察や季節に関連した制作をする。		○					○	◎			
	季節を感じよう ～夏～	6	◆ 夏に関する物や音などに触れ、季節を感じるができる。 ◇ 夏に関する音(虫の声、花火、お祭り)や映像を見たり聞いたりする。 ◇ 夏祭り体験をする。			○				◎	○			
	絵本、パネルシアターを楽しもう	10	◆ 歌や絵本、パネルシアターなどの視聴を通して、様々な言葉に触れたり、余暇活動につなげたりする。 ◇ 歌や手遊び歌を友達と一緒に楽しむ。 ◇ 繰り返しのある図書やパネルシアター、DVDなどを視聴する。			○		○		◎				
10 11 12	外国語に触れよう① 墨東祭へ向けて	2 12	◆ 外国の歌やゲームを通して、外国語に親しむことができる。 ◇ 外国の歌で手遊びやダンスをする。(ALT) ◆ 発表の練習や小道具の制作などを通して、墨東祭に見通しをもつ。 ◇ 発表の練習をする。 ◇ 小道具や背景などを制作する。											○
					○					○	◎			
					○					○	○			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ								
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	技能	外
1 2 3	季節を感じよう ～秋・冬～	10	◆ 秋・冬に関する物や音楽などに触れ、 季節を感じることができる。 ◇ 秋・冬に関する音や歌を聞いたり、 季節に関連した制作をしたりする。 ◇ 足湯・手湯をして温度を感じ、心身を リラックスすることができる。		○						◎	○			
	健康な心・健康な身体 (がん教育)	2	◆ 心と身体が健康になるために必要なこ とを知る。 ◇ 食事、休養など自分の健康を保つため に必要なことについて学ぶ ◇ 分教室での学習を取り上げ、がんに対 する知識やがん患者について知る。		○					○		◎			
	1 日本文化に触れよう 2 (墨東レガシー) 3	6	◆ 書き初めや正月遊びを通して、日本の 伝統を体験する。 ◇ 書き初めを体験する。 ◇ 昔の正月遊びを体験する。	○			○								
	外国語に触れよう②	1	◆ 外国語の言葉の響きを感じたり、文化 に親しむことができる。 ◇ ALTによる活動。			○	○								◎
	買い物学習 (消費者教育)	8	◆ 買い物学習を通して、生活経験を積み 重ねる。 ◇ 買い物の疑似体験をする。	○			○	◎							
	一年間のまとめをしよう	6	◆ 一年間の学習を振り返り、まとめたこ とを発表したり、友達の発表に注目し て聞くことができる。 ◇ まとめ新聞を作る。		○		◎	○							

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度